

公開質問状

Q1. 当会は平成 15 年(2003)10 月 7 日、『「播州屋台会館(仮称)」早期建設提案書』を、109,442 名の署名簿と共に、石見利勝姫路市長(当時)に提出しましたがご存じですか?

はい

Q2. (ご存じの場合) 109,442 名の重みをどう受け止めておられますか?

姫路市人口の約 5 人に 1 人以上の意見であり、尊重すべき提案と考えます。

Q3. 提案書提出から今年で 20 年。実現に向けて進まなかったのは何故だとお考えですか?

姫路城周辺での建設を前提とした場合、文化庁問題(文化庁からの建設許可が出にくいこと)によるハードルが高いことや、建設にかかる財源問題解決されないことが、これまで実現できなかった大きな理由と考えます。

Q4. ズバリお聞きします。会館を建てるおつもりはお有りですか?

はい

Q5. (お有りの場合) 場所は具体的にどこが良いと、或いはどの様な所が良いとお考えですか?

姫路城周辺。建設の際には、単独施設ではなく例えば高級ホテルなど民間施設との複合施設として、費用を抑えることが必要と考えていることから、ある程度の広さを確保できる場所が望ましいと考えます。

Q6. (お有りの場合) 建設費に関し、何か工夫がお有りですか?

建設財源としては、姫路市からだけではなく国費・民間企業からの資金を集めることが重要と考えます。その観点から、国の税制優遇措置を含む企業版ふるさと納税を有効に活用することで、国費も活用しつつ民間からの資金を活用することが必須です。更に、Q5 に既述の通り民間施設との複合施設とすることにより、姫路市からの財源拠出負担を低減できると考えています。

Q7. (お有りの場合) 運営に関し、何か思う事がお有りですか?

運営費を賄うためにも、民間施設との複合施設とすることで姫路市単体での維持管理費負担を抑制すべきと考えます。また、建てることは行政主導としても運営は民間が行うという「公設民営施設」とすることで、単純に税金からの持ち出しのサービス提供だけではなく、屋台会館としての収益を上げる工夫をしていくことが必要と考えます。

その際、屋台が展示される各地域とも連携を図ることで、運営にも携わってもらい姫路市民と一緒に屋台会館を作り上げる仕組みが重要と考えます。